

○エリア内に集積する施設を活用し、「賑わい」と「見守り」を基本コンセプトとする「産業振興」「地域福祉」「防災」の3機能を有する『地方創生拠点』(小さな拠点)を形成
 ○道の駅「よこはま」エリアと(仮)横浜ICの直結により、自動車専用道路への休憩サービスを提供



産業振興 「賑わい」ステーション		地域福祉 安全安心な住民サービス提供		防災 地域防災力の強化		
駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
よこはま	青森県	横浜町	国道279号	既設	平成11年	単独型

【産業振興】

- ・農協や漁協等5団体が加工センターを利用し、地産地消に取組み、300品目以上を出品
- ・ナタネ油は農林水産大臣賞を受賞
- ・オリジナル商品開発、ブランド化の加速
- ・地場産品を活用した6次産業化や集荷サービス等導入による直売所の充実



【地域福祉】

- ・高齢者など住民への宅配・送迎サービス
- ・宅配・集荷サービス等とあわせて見守り・声かけサービス
- ・エリア内施設(除雪ステーション、小中学校、(仮)横浜IC)連携による防災ヘリやドクターヘリの発着場の複数確保



【防災】

- ・H24豪雪時、沿道住民が支援活動、道の駅よこはまでは避難者を受入れ
- ・自衛隊、警察、消防等の広域支援部隊が参集する後方支援拠点機能強化
- ・災害時等の受け入れ体制の確保(防災備蓄倉庫・非常用電源等)
- ・自動車専用道路との直結で、災害時の防災拠点として迅速な対応が可能



【道路休憩施設】

- ・道の駅とICを直結し、休憩サービス提供、地域振興を図る整備方針(H26合意)
- ・駐車場やトイレの拡張や道路情報提供の充実を提案



(EV急速充電器 H24.1~)



(提案メニュー：道路情報提供の充実)

<提案の先駆性・ポイント>

- エリア内に多数集積する既存施設も活用し、小さな拠点を形成。
 既存施設：小・中学校(避難所・非常用電源)、河川公園、給水施設、交流館、特産品加工センター、惣菜棟、コンビニ、GS等
- 自動車専用道路と直結で、休憩サービス機能を向上。
- 日本一の菜の花ブランドで地産地消の取組を加速。
- 東日本大震災や豪雪災害では自衛隊等の防災拠点として機能。

<実施内容>

- 産業振興：地場産品を活用した6次産業化や直売所の機能強化、道路利用者への休憩サービス提供の充実
- 地域福祉：高齢者など地域住民への宅配、送迎サービス、防災・ドクターヘリ発着場として除雪ステーションを活用
- 防災：後方支援拠点や避難施設として、受入体制、受け施設、バックアップ機能を確保。